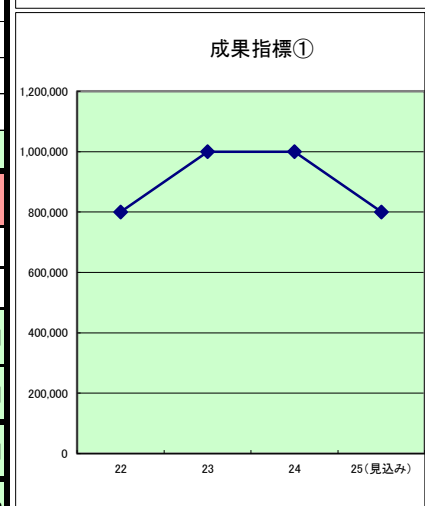
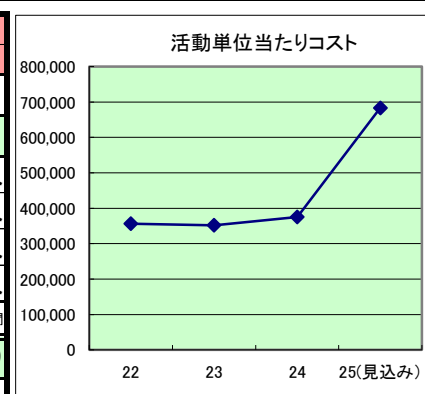


事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野管理運営事業		会計	7	健康ふれあいの郷事業特別会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	予算科目	1	事業費
				項	1	事業費
				目	1	健康ふれあいの郷事業費
				事業	51	健康ふれあいの郷事業
施策(節)	7	土地利用・市街地整備	作成部署	生活環境部産業振興課		
施策の方向	(3)	魅力ある交流拠点の推進	(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2741		
関連する計画等		南河内健康ふれあいの郷構想				
事業の概要(目的・内容)		当道の駅は、南阪奈道路沿いという奈良県、大阪市内、関西国際空港などからのアクセスに優れ、南河内地域の玄関口として位置する。こうした立地性を生かし、大阪府が整備した道路利用者のための休憩・情報案内施設と羽曳野市が整備した憩いと健康づくりのための野外活動広場、地域の特産品、加工品などを販売する羽曳野市商工会の商工物産館「タケル館」、地元の新鮮な農産物を販売するJA大阪南農産物直売所「あすかてくるで」を設置し、運営管理を行っている。 また、特化した修景づくりを行うことにより更なる集客力を高め、四季が楽しめる施設づくりを目指す。				
根拠法令等		羽曳野市立道の駅しらとりの郷羽曳野条例				
事業期間		☐ 10 年以上 ☒ 5 年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）				
事業開始時からの状況変化						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター) ☒ 民間委託 ☐ その他		委託内容		
				駐車場誘導業務、トイレ清掃業務、機械警備業務		

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)
事業費【1】		(千円) 89,599	81,026	82,520	181,159
人件費【2】		(千円) 19,860	27,420	32,742	29,260
職員数	正規職員	1.00 人	2.00 人	3.05 人	2.10 人
	再任用職員	5.00 人	6.20 人	5.57 人	6.40 人
	嘱託職員	0.90 人	人	人	人
	臨時職員	人	人	人	0.70 人
超過勤務(参考)		(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】		(千円) 109,459	108,446	115,262	210,419
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	府支出金	(千円) 0	0	0	0
	市債	(千円) 0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等)	(千円) 89,599	81,026	82,520	181,159
一般財源【B】		(千円) 19,860	27,420	32,742	29,260
活動指標【C】		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
(事業の活動実績) 単位					
① 施設の開場日数		日 307	308	307	308
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		356,544 円	352,097 円	375,446 円	683,179 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)		64,691 円	89,026 円	106,651 円	95,000 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		927 円	926 円	989 円	1,812 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			38.1 %	19.4 %	▲ 10.6 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ ☒)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☒ 5. その他(人員配置による人件費の変動による)			
※該当項目すべてに ☒					



成果指標 (事業の達成度) を測る指標	指標名		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度
	①	来場者数	人	目標	800,000	800,000	800,000	達成率(%)	800,000
		(式又は説明)		実績	800,000	1,000,000	1,000,000	125.0%	
	②			目標				達成率(%)	
		(式又は説明)		実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○						○	○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	市民のニーズにも対応した施設であり、大阪府・JA・商工会と連携して実施している事業であるため、休止・廃止をした場合の影響は多大である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	店舗は、JA・商工会直営方式・施設管理等においても一部委託を行い、効率的かつ効果的な運営を図っている。今後、指定管理者制度の活用等さらなる効率化の検討を行う。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
	協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	来訪者の意見や要望を踏まえた施設運営や地域産業の振興策を講じる必要がある。また、園内美化など市民ボランティアの活用を検討する。
		事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☒	☐	
	有効性達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	雑誌・放送メディア情報等の影響も有り近隣市・他府県からの来場者も多く、施設の目標は達成できている。
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など） 大阪府・JA・商工会との緊密な連携の下で、情報発信拠点としての機能充実を図り、より多くの来訪に努める。また、特化した修景づくりを行うことにより更なる集客力を高め、四季が楽しめる施設づくりを目指す。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見 事業の継続的発展とともに、管理コストの合理化・効率化を図ること。	